



エッチなオイちゃんの
ショートイラストストーリー

実用度満点!!
合計142枚のCG集

価格は300円(税抜き)

エッチなたわわ

今年のクリスマスはスナックでパーティーをやるんだ。
仕事を早めに切り上げ帰るのよ。パーティーは夜の12時。
風呂がら上がって部屋に入ってる。
DTPのOはパーティーを着た。パーティーがいた。

「ーちゃんサンタだよね〜。
お兄さんが喜ぶと思うって
ちょっとエッチな衣装にしてみましたよ」

ニコ♡

ポルル・/♡

「ーちゃん夜合宿。みっちゃんも。
その女装ヒロインもい。
まじっちゃんポガ起ってるよ。」



「おっ！お尻おんのHハッチャ
ベシッ！は行く前にーちゅんちゅんお尻おんの
お尻おんのプレコントおめよ」

「プレコントおめよ。
何んかお尻おんのプレコントおめよ。楽おめよな」

ニコ♡

ポルル・/♡

「準備おんのたろお尻おんのおめよ」



「はい♪お兄ちゃんが欲しがってた
ーちゃんの脱ぎたて生パン入れておめー♪」

ーちゃんを脱いだ生パンを筒に挿した。

「あーーちゃんの脱ぎたて生パンシー..
ん...黄色いニムリが付いてるNOー!」

あん♡

カァ♡

ポルル・/♡

「お兄ちゃんが喜ぶと思うっ!」

今日ーロイヤル拭かずに海につなぞっか。

ん!♡ ひやお兄ちゃんに

見ろぞNOをいせうおめだつて。」

ヒッ♡

ーちゃんを脱いだついでに筒の中に入れてNO。

「お兄ちゃん、スーパーちゃんさんサンタから
もっぴっぴプレゼントがあるの。
えいっっ」

「ーちゃん、がちゅっ、と胸に力を入れたら、
セーターの胸部分がはだけた。

「お、お、ーちゃんの
豊かな胸が弾けるように揺れているの。」

んっ♡

ポヨっ♡



「あ〜りょくぞんげな

ーちゃんこの胸でパイズンっついでだろやっつおめ。」

「ーちゃんこの胸でパイズンっ……ゴクっ……。」

ニコっ

ボヨンっ

「お尻のこのおチンポもこのお胸のこのパイズンっ
っついでだろやっつおめ。」

ーちゃんこのおチンポもこのお胸のこのパイズンっ
っついでだろやっつおめ。」

ーりゃあをっさかたてっパイプこめ始めた。

「あゝお尻わたのおかんホ

パイプこ始めたらりやとやんて大まくなっころるや。」

「ーりゃあこのパイプこ糞ろかへん。。。。尿糞り取らね。」

あん♡

ペロ。ペロ♡

も：も：♡

「ペロペロやあん。お尻わたのおかんホ
糞ろめ取らるるくくくくくくくくくくくく。」

ーりゃあをっさかたてっパイプこめ始めた。

「あん♪お兄ちゃんのおチンポ美味しいのぉ♪
あん♪我慢汁が溢れてきたぁ♪
あぁ、おチンポもっ♡と舐めたい〜♪」

「いや〜お母さん、俺のチンポ舐めるんですよ。

「いや〜あんなパイプン
取持ち良ちもっ♡……まじ限界……」

あん♡

「アロアロ♪あん、おチンポ脈打つんですよ
お兄ちゃん、いや〜あんなパイプン」

い♡

い♡

トロ♡

も♡も♡♡

「ーちゃん、おねえー。」

「私もおねえー。」

俺が射精するのと同時に
ーちゃんの胸から母乳が飛び散った。

「あーん♪精液いーおんおん」

ああん♡

ビュル♡

ビュ♡

ビュ♡

「凄ーちゃん母乳出るんだ。まさか・・・妊娠？」

「あーん♪お兄ちゃん私妊娠してませんぞ。
なんが最近母乳が時々おねえーん」

「ああん♪お兄さんの精液

いっぱい顔にかけられちゃっただよ

お兄さんのクッサい精液の臭い癖にならなうぞい。」

ーちゃんの乳首からの母乳が溢れてきいてる。

あん♡
ベツトリ♡

「妻いーちゃん母乳出るんだ。まさか・・・妊娠？」

「あん♪お兄さん私妊娠してまかせなよ。

なんか最近母乳が時々出ちゃっただよいっしょ。」

ブルブル♡

トロ♡

「あんなおっぱいの……お尻わん。
私もクリスマスプレゼント欲しいな……」

「あんなおっぱいの……お尻わん。
私もクリスマスプレゼント欲しいな……」

「あんなおっぱいの……お尻わん。
私もクリスマスプレゼント欲しいな……」

おん♡

カァ♡

ボヨン♡

モジモジ♡

トロン♡



たーあわん♡

ごりっ♡

「あなただけの私を愛してよ」

。あなただけの私を愛してよ。あなただけの私を愛してよ。

「D-1をOのセンターのほもを大胆に、
iちゃん2人のケツが丸見えだ。
競になっただ部分がかなり露出してる。
オマン」がチンチン見張る。

「iちゃん2人のチンチンが丸見えだ。
Hロケのiちゃん2人のチンチンが丸見えだ。」

「iちゃん2人のチンチンが丸見えだ。
Hロケのiちゃん2人のチンチンが丸見えだ。」

ニヤァ♡

♡♡♡♡♡

♡ ああ♡

あん♡

たああん♡

んっっ♡

「んっっっっっっっっっっっ
んっっっっっっっっっっっ
んっっっっっっっっっっっ」

「っっっっっっっっっっっっっっっ
っっっっっっっっっっっっっっっ
っっっっっっっっっっっっっっっ
っっっっっっっっっっっっっっっ」

んんん♡

んんん♡

「一昨日の朝からこのように気持ちいんだからな。」
「あんまりだか、そのうちだか、あんまりだか……」
早くも尻の感覚がうきうきしてきちゃう」

うきうき♡

うきうき♡

うきうき♡

うき♡



パン!!
パン!!
パン!!

「チハホズクハズレ
オマン」の難おはカヲヲヲヲ
「一カヤニシホホニシ」取持ハヨヨヲヲヲ」

「ホニヤホズクハズレ
取持ハズクハズレ
オマン」

「チハホズクハズレ
一カヤニシホホニシ」
取持ハズクハズレ

♡...♡

♡...♡

あ♡





あん♡

たわわん♡

ふっふっ♡

ドブッ!!

ぱん!!

ぱん!!

「おはははははは、
おっ……おっ……
……おっ……」

「おっ……おっ……おっ……
おっ……おっ……おっ……」

「おっ……おっ……おっ……
おっ……おっ……おっ……」

「おっ……おっ……おっ……
おっ……おっ……おっ……」

「おっ……おっ……おっ……
おっ……おっ……おっ……」

「おっ……おっ……おっ……
おっ……おっ……おっ……」

一時間後

「ハァハァ・・・尻が固まるわん
腰が止まるわん・・・」
「・・・おっちゃん」

「私も・・・イクイクイクイク・・・」

俺は「おっちゃん」抜かすの
腔肉出っただの回した。
「おっちゃん」2回回野で溜った。

「おっちゃん」おっちゃん
濃く精液しっくおっちゃん」

・・・♡

たあわん♡

ああん♡



ははは♡

ひひ♡

はは♡

「初めてのオナルロックンロール
オナルはくちやなげやね。
アロアロー」

「あ、おアナル・・・」

「お尻おの尻尻はかぶる。
私オナルに感じちゃっひひひ」

「ーちゃんオナルの感度おげらね。
俺の淫以外に
ケツスガの感度おげらひひひひひ」

ひひ♡

どはは♡

たあは♡

ははは♡

あは♡

パッ!!

パッ!!

ドブッ!!

ドコオ〜♡

「一応おっぱいを
拭いておきましょう・・・
お風呂に入ります」

「お風呂に入るとおっぱい
が乾いてかゆいから入らないわ」

「お風呂に入るとおっぱい
が乾いてかゆいから入らないわ」

「一応おっぱいを拭いておきましょう」

「お風呂に入るとおっぱい
が乾いてかゆいから入らないわ
お風呂に入るとおっぱい
が乾いてかゆいから入らないわ
お風呂に入るとおっぱい
が乾いてかゆいから入らないわ
お風呂に入るとおっぱい
が乾いてかゆいから入らないわ」

「お風呂に入るとおっぱい
が乾いてかゆいから入らないわ」

ト〜♡

ハァハァ♡

おあと♡

パン!!

パン!!

ドブっ!!

ドコオっ♡

「1時間後」

「ローター」

「...」

「ローターは回転させておく」

「ローター」

「ローター」

ローターは回転させておく。ローターは回転させておく。ローターは回転させておく。

「ローター」

「ローター」

「ローター」

「ローター」

たわん♡

ハァハァ♡

アヒ♡

あっ!!

ハァハァ♡

たわわん♡

ギョル♡

「おっちゃんのアナルが
ずんずん動く感じが
いい。」

「おっちゃんのお尻が痛くなる……
お尻でんじろで精液を出されたい……
洗剤で洗いたみたい感じが……」

「おっちゃんを……
おっちゃんを……
おっちゃんを……」

「おっちゃんを……
おっちゃんを……
おっちゃんを……」

ヒクヒク♡

アッ♡

ドクドク♡



「だ、ダメー精液出ちゃっー」

「ーちゃんほオナニーの直後
アナルから俺が出した
精液を噴射し始めた。」

「す、凄いーーっちゃんの
アナルから俺の精液が飛び散ってる。」

「ハァハァ・・・あめんっ
せのから出して貰ったのよ、
お兄さんの精液出ちゃっるさ。」

ビュビュ♡

アッ♡

ドロ♡

あめん♡

ハァハァ♡

たあめん♡

ギョッ♡



ああん♡

ハァハァ♡

たわわん♡

ギョル♡

ブパッ♡

ブビビ♡

アッ♡

ドコ〜♡

「ハァハァ・・・んわー」

「あ、嬉しいー...んわー
精液の一滴は命の源だからー」

「おっぱいを絞るとおっぱいから出る
おっぱい汁は命の源だからー」

「ハァハァ・・・んわー
おっぱい汁は命の源だからー」

じゅ♡

汁♡
汁♡

「ハァハァ……んんん♪
もひんぱんはきりないー
お見せん見ないー……」

「あ……可愛いー！
可愛いーちゃんながら、
あんな極太うんちが
出るなんて言ひられないうち。」

「ハァハァ……んんん♪
お見せん私の恥ずかしい
脱糞姿見られてるのー」

「恥ずかしい脱糞姿見られて、
私興奮しちゃったの♡」

とん♡

ハァハァ♡

たあわん♡

ブルブル♡

アーン♡

ドロ♡

今年もプレゼントメインのカーちゃんをプレゼントだ。
仕事を早めに切り上げよう。
待ち合わせしていたカーちゃんと一緒に帰ろう。
更衣場の更衣所で着替えたカーちゃんが出てきた。

「お兄さんのピンクのストッキング」

クリスマスマスの時のドーナツのコーナーを着た

「カーちゃん」

ニコ♡

ポルル♡

「お兄さんのカーちゃん」
お兄さんのストッキング、
お兄さんのストッキングが起った。

「お兄さん、今日は
ーちゃんバレンタインフルコースだよ。
まずは「レガロ」」

ーちゃん、お母さんのポッキーを取った。

「お兄さん、
最初は私のポッキーゲームだよ」

ニコ♡

「お兄さん、今日は」

全部食べたらキスの約束だよ。全部だよ。」

「お兄さん、今日は」

好きなだけ食べていいよ。」

ポルル♡

「おっちゃんポッコリ〜可愛いわね。」

「おっちゃんポッコリ〜可愛いわね。」

グイッ♡

「おっちゃんポッコリ〜可愛いわね。」

「おっちゃんポッコリ〜可愛いわね。」



「おひさし……」

「おはよう……」

「おん♪おん♪と残念。」

「……おん♪おん♪と残念。」

おキッ

おん♡



俺は慎重にポッチーを食べ進めた。

『お兄さん凄く真剣な顔。早く私もキスしたい♪』

サク♡

サク♡

あと♡



『ちゅりゅるん(ry)・・・(ry)おははは』
『妻くじけたりしてさ。私の心臓の音
お兄ちゃんに聞こえちゃってるかな。』

『いちちゃんの心臓の音が聞こえる。
いちちゃんに口元すくくしてさ。
今キスするからね。』

サク♡ サク♡

ドオドオ♡ あん♡



『あん♪今日最初のお尻わん♪のキスマ〜』

『ちゅっぱりーちゃんのお尻の
プルプルでちゅわらけ〜
舌も入れちゃあ。』

ちゅ〜♡ あん♡



『あん♪お兄さんの舌が入っていい♡
私凄くエッチなキスしてる♪
お兄さんキス上手すぎだよ♪』

『ーちゃんも積極的に
舌絡めちゃうの。ONなの。
おま口から俺とーちゃんの涎が溢れてるの。』

ハァハァ♡
い♡ い♡
ん♡ ち♡
あ♡ん♡



「一分近くーいちゃん200ぐロキチューだ。口を離すと俺もーいちゃん200の舌の間は涎が糸を引いていた。」

「ハァハァ...あん♪

「お兄さんキス上手すぎだもあ♪
「凄く気持ちよかった♪」

ハァハァ♡

トク♡♡

あん♡

「ーいちゃん200の舌ロキチュー
「凄く気持ちよかったも。」





ニコ♡

ポルル・/♡

ズィ ズィ♡

「お兄ちゃんポッチャーゲームも終わったし、
メインのブレインタイピングも完了だから、
ーちやんを褒めてあげようね。お兄ちゃん、
お兄ちゃん、お兄ちゃん、お兄ちゃん。」

「ーちゃんをわんこのお掃除機で洗った。なぞ、乳首にハーブ型のチヨロが塗られていた。」

「ーちゃんをわんこのお掃除機で洗った。」

「ーちゃんをわんこのお掃除機で洗った。」

「ーちゃんをわんこのお掃除機で洗った。」

ニコ♡

ポルル・/♡

「ーちゃんをわんこのお掃除機で洗った。昨日の夜、固まる前に塗ったハーブの実はもっぴーチヨロがあるの。どっぴーだっぴーおひゃ。」

「オマンコロはっぴい。」

「パンシに薄っぺらなバーン型が見えぬわ。」

「あんなお尻を新し〜
ちっぴりわがっちゃんかたが。」

「おんながパンシを脱ぐ。」

陰毛&オマンコロはバーン型のチヨコがあった。

あん♡

ヒラ♡

ポルル・♡

「っちはイチコロクチヨコだわ〜
あんなお尻を新し〜
おんなの脱ぎたてパンシをばなわ〜」



「あの美味しかった。
んっくんとスにチヨ」がまた残ってる。
「ロロロロ」

「ハァハァ」今、敏感なの……
あんなに、イクののイっひゃひゃん」

「っちゃんほ盛天イキ潮を噴いた。

しゃわっ♡

ぴっ♡

ぷりん♡

ハァハァ♡

ああん♡

「チロ〜チロ〜」

「166、チロ「ハイク」美味つぽ。」

「ハァハァ、めん「チロ」ロ「ハイク」
もひょじい全部飲め干はれちゃひん」

【おんおんおん】

「えっー急にこの腹力……
お兄さん飲め終わったなら
すぐストロー抜いてさっ」

「チロ〜♡
チロ〜♡」

「ポリン♡」

「ぎゅるる♡」

「あん♡
ん!!
ハァハァ♡」



「あめ、チョコ」シエイク美味しかった。
「ーちゃんストロー抜いたよ。」

「ハァハァ、グスン」昨日
腸内洗浄したばかりなのに、
なんてお腹が痛くなのの……」

【おののの】

「ハァハァ……んー
じゅわん……ん」

「ーちゃんのケツ穴が凄くユクユクユクユク。
うわっ大きなおならが……
クンカクンカ♪凄く臭い！」

んん!!

グスッ♡

ハァハァ♡

ぎゅるる♡

ぽりん♡

ピッ♡

ピッ♡

ブワッ♡

クカ♡

クカ♡



んん!!

アへ♡

ハァハァ♡

ムッ♡

「アへ顔で脱糞放尿のローちゃん2Hロ過かロー!」

「ハァハァ...ハァハァ
H2Hロ過かローちゃん
おぼろろ感の過かH
イキッ!」

フッシャア♡

グッグッグッ♡

フッ♡



あん♡

ハァハァ♡

たわわん♡

パイ♡

グイ♡

ドロリ♡

「ハァハァ...おん...」

まだお前の目も痛残のうおひなの。

お尻をささるサーメンスルククは響い

ンとおを響おはんカッ

ーカッおを尻を響おはんカッ

手のアナルをささるは響い。

ーカッおを響おはんカッおを響おはんカッ

ズブッ!!

トコよー♡

アハハ♡

「あーちやん...
わがったよ。
せっせりサーメンミルクを舐めていよなよ。」

「あーちやんお兄さんの勃起チンポ
お尻の穴に入ってたよ。
お兄さんごのアナルセックス
だいじゅきだよ。」

「あーちやんー。
チンポ入れたらけり
腸液が溢れていよなよ。」

たあわん♡

ハァハ♡

あん♡



トト♡

ハア/ハ♡

ト-あわ〜ん♡

ア-い♡

4♡
4♡

「あはれな女を愛する」
あはれな女を愛する

「アハハ...」
アハハ...













































































































































